

經濟部知的財産局專利拒絕理由事前通知書 (日本語訳文)

受取人・・・日本電気株式会社 殿、
ジャパン・イー・エム株式会社 殿 (代理人・・・洪 澄文)

住所・・・台北市信義路4段279号3F

文書発行日・・・中華民國93(2004)年5月21日

文書の番付・・・(93)知專三(三)05077字第09320484380号

主旨・・・第91105183号再審査案を審査したところ、説明三. に記述の如く、不明確な所があるので、貴殿(貴社)におかれて具体的な反論資料または説明があれば、文書送達の日から60日以内に意見書および関連する反論資料一式二部をご提出して頂きたい。なお、期限までに通知書の内容に基いて補正しないものは、特許機関は現有資料に基いて審査し続けることを、ご了承頂きたい。

説明・・・

- 一. 本願につき、修正があった場合、専利法第44条の1、専利法の施行規則第28条、及び本局2002年11月8日智法字第0918600118-0号公告の規定に基いて補正すると共に、修正料金NT\$1,000を納めて頂きたい。(明細書或いは図面を修正したことがあれば、修正申請書一式2部、修正に該当する部分を罫線した明細書或いは図面の修正頁一式2部、及び修正に該当する部分を罫線していない明細書或いは図面の差し替え用修正頁一式3部を提出して頂きたい。もし、修正頁のページ番号が元明細書或いは図面のページ番号と連続できない場合は、明細書及び図面の修正本1式3部を提出すべきである。)
- 二. もし、当局に出頭してデモンストレーションまたは説明をご希望される場合、意見書に「面会要求」と明確に注記して頂き、当局が必要と判断した時に限り、場所・時間を設定し「インタビュー」を行うと共に、料金NT\$2,000を納付して頂きたい。
- 三. 本願は審査をしたところ、
 - (一) 本願は「TRANSFER APPARATUS FOR ARRAYING SMALL CONDUCTIVE BUMPS ON SUBSTRATE AND/OR CHIP」は、パレットと、吸着ヘッドと、駆動装置とを有する転写装置を利用して、導電性パッドの整列と同じ配列の導電性ボールを、真空吸引することでパレットから導電性パッドに移転することにより、はんだボールの吸着の確実性の向上を図るものである。
 - (二) 審査をしたところ、中華民國90(2001)年10月21日公告の第460355号「APPARATUS FOR TRANSFERRING MICRO-BALLS」において、吸着ヘッドの凹部でマイクロ・ボールを吸引力により保持し、支持フレームを利用して吸着位置、転写位置及び吸着ヘッド交換位置の間で移動させることが開示されている。本願において、吸着ヘッドを利用して導電性ボールを吸引するとともに、駆動機構で導電性ボールを導電性パッドに移転する技術は、該引用例と明らかに一致しているので、当業者が容易に完成できるものである。
 - (三) 上述により、本願は出願前の公知技術または知識を応用し、当業者が容易に完成できるものであり、特許法第20条第2項の規定に符合していない。

經濟部知的財産局

冠群

經濟部知的財産局專利拒絶理由事前通知書 (日本語訳文)

説明・

三. 本願は審査をしたところ、

(一) 本願は「TRANSFER APPARATUS FOR ARRAYING SMALL CONDUCTIVE BUMPS ON SUBSTRATE AND/OR CHIP」は、パレットと、吸着ヘッドと、駆動装置とを有する転写装置を利用して、導電性パッドの整列と同じ配列の導電性ボールを、真空吸引することでパレットから導電性パッドに移転することにより、はんだボールの吸着の確実性の向上を図るものである。

(二) 審査をしたところ、中華民國90(2001)年10月21日公告の第460355号「APPARATUS FOR TRANSFERRING MICRO-BALLS」において、吸着ヘッドの凹部でマイクロ・ボールを吸引力により保持し、支持フレームを利用して吸着位置、転写位置及び吸着ヘッド交換位置の間で移動させることが開示されている。本願において、吸着ヘッドを利用して導電性ボールを吸引するとともに、駆動機構で導電性ボールを導電性パッドに移転する技術は、該引用例と明らかに一致しているので、当業者が容易に完成できるものである。

(三) 上述により、本願は出願前の公知技術または知識を応用し、当業者が容易に完成できるものであり、特許法第20条第2項の規定に符合していない。

經濟部知的財産局

当所コメント

一. 審査官は、中華民國專利公告第460355号を引用し、「該引用例に開示された技術はほぼ本願と一致するので、本願は進歩性を有していない」ことを理由に本願を拒絶しています。

二. 引用例の「APPARATUS FOR TRANSFERRING MICRO-BALLS」は、マイクロ・ボールをパレット上の凹部から吸着ヘッドの凹部へ吸着させてから転写をする技術であります。該引用例に開示された内容(図3に示されるように)によれば、その吸着ヘッド吸着凹部(20)とパレット(3)上の凹部(2)は、本願クレーム1に記載される「paths physically separated from one another」との記載とあてはめないと考えられます。

この点つき、ご確認ください。当所の見方が正しければ、相異点を指摘して応答することができると思われます。そのほか発明者より技術コメントがあれば、ご提供いただきますようお願い申し上げます。

三. 上述コメントをご参考の上、早期にご意見を提供していただきますようお願い申し上げます。

四. 引用例の原文明細書を入手しましたので、速達(UPS)にて郵送致します。

以上です。